

2017年度 事業計画

1. 専門図書館事業

(1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入
- ③ 寄贈・寄託事務の改善

(2) 整理

① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書 約3,000冊

雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要 約6,000冊

購入 約100冊（主に欠号補充）

紅野敏郎文庫雑誌（継続）

開梱済・未登録約20,000冊のうち7,000冊の登録・装備・配架

（参考：2016年2月末まで4,635冊登録済）

図書・雑誌共通 曾根博義氏蔵書受入準備作業（2016年度から継続）

特別資料〈登録予定〉澤木欣一・細見綾子資料 約700点／加藤楸邨書 746点

日本古書通信社寄贈原稿・書簡 約1500点／二葉亭四迷関係資料 190点 ほか

〈整備／登録開始予定〉

犬田卯・住井すゑ文庫 原稿・書簡 約300点

小川国夫コレクション追加 原稿・書簡 約2800点

紅野敏郎文庫 主要肉筆・印刷資料 約600点

志賀直哉コレクション

② 図書・特別資料・雑誌副本の遡及入力

図書 一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 佐佐木信綱宛書簡ほか

(3) 資料の提供・公開

① 閲覧

駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第4木曜、年末年始、特別整理期間

成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

③ 視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

④ 『日本近代文学大事典』第5巻をもとにした安藤宏氏作成の雑誌データベースを2017年度から閲覧室で公開

2. 展覧会事業

(1) 館内展示

① 春季展示 4月1日（土）～6月10日（土）

「全集完結記念 新資料から見る谷崎潤一郎—創作ノート、日記を中心にして」

編集委員：紅野謙介、千葉俊二

特別協力：中央公論新社

川端康成記念室「川端康成が見出した作家たち」

②夏季展示 6月24日(土)～9月16日(土)

「教科書のなかの文学／教室のそとの文学——芥川龍之介『羅生門』とその時代」

編集委員：紅野謙介、庄司達也

夏休みに向けて、近代文学の代表的作品や現行教科書に登場する作家を取り上げ、中高生・大学生来観者の増加をはかる。レプリカ、複製版、写真などによる展示。

③秋季展示 9月23日(土)～11月25日(土)

「初公開資料から見る近代文学の世界——新収蔵資料から」(仮題)

編集委員：安藤宏

2013年夏以降、新たに受け入れた資料を展示する。

展示によって、寄贈者の顕彰とともに、新資料の重要性・ニュース性を示す。

川端康成記念室「川端文学の名作Ⅰ」

④冬季展示 12月2日(土)～2018年2月10日(土)

「小説の一生」または「書く」ことの運動」(仮題)

編集委員：安藤宏、紅野謙介

手書き原稿のおもしろさに焦点を当てる。レプリカ、複製版、写真などによる展示。

⑤全国文学館協議会共同展示への参加展示

「3.11 文学館からのメッセージ」(仮題) 2018年2月20日(木)～3月24日(土)

「加藤楸邨『雪おこし』の世界」(仮題)を同時開催

⑥2018年度 春季「志賀直哉展」(仮題)の準備

(2) 企画展示の貸出し

2017年秋 菊池寛記念館「芥川龍之介展」(会期末定)

土屋文明記念文学館「愛の手紙」展(会期末定)

(3) 出品協力

3. 講座・講演会事業

(1) 第54回夏の文学教室(読売新聞社後援)

テーマ：大正 7月31日(月)～8月5日(土)、有楽町・よみうりホール

(2) 声のライブラリー(石橋財団助成事業)

5月13日、9月9日、11月11日、2018年2月10日の各土曜日 14:00～16:00、館ホール
会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる

(3) 資料は語る

<作家からの手紙>

前期：3回=4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日

後期：3回=9～11月各第3土曜日、14:00～15:30 館ホール

(4) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月22日(火)～26日(土)、館ホール、午前10時～午後5時10分(1日4コマ、計20コマ30時間、2単位)

(5) 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。

春(4月15日、5月5日)・秋各2回、定員各回30名程度。

(6) 「教室」と「文学」をつなぐ

7月1日(土) 14:00~16:10 ミニレクチャー:安藤宏×中島国彦
読売新聞「教育ネットワーク」と連携した、小中高校教諭向けイベント。定員60名程度。

(7) 谷崎展記念対談「谷崎潤一郎 デンジャラスな作家」桐野夏生×千葉俊二

5月3日(水) 14:00~15:30 定員80名。

4. 刊行事業

(1) 『文学者の手紙』別冊アルバム

(2) 『近代文学大事典』のデジタル化・増補改訂

(3) 『東京文学を歩く』(仮題、勉誠出版刊行)

(4) 「日本近代文学館年誌—資料探索」第13号 2018年3月刊行

5. 他の文化団体への協力・支援事業

全国文学館協議会総会の開催(6月第3週の水曜日=6月14日)、部会活動、会報の発行など

6. 広報

(1) 館報「日本近代文学館」の続刊、今年度中の刷新をはかる。

(2) ホームページの運営

7. 設備の改修工事

(1) 電動式集密書架の改修: E単位を予定(税別1340万円=2016年度修繕引当金を充てる)

(A~H単位総額で1億340万円=茂木電機見積。2014年度はD単位、2015年度はC単位、2016年度はF単位の改修を実施。2020年度までの毎年、次年度分の修繕引当金を予算に計上し、2021年度まで毎年1単位ずつ改修を実施する)